

◆自主防災会総会で防災まちづくりのワークショップを実施しました！

テーマ “わたしのまちの危ないところを探してみよう”

今年6月25日、朱二小学校で開催した自主防総会において、自主防委員や各種団体役員の方々の参加で「防災まちづくりワークショップ」を実施しました。

防災まちづくり計画の推進に向け、それぞれのご町内の「危ないところ」を改めて見直し、災害が起こるまでに取り組むべき課題について意見交換を行いました。

寄せられた様々なご意見

道路が狭いので
電柱の撤去を

街路樹の根が成長して
歩道にでこぼこがある
ので避難時には危険

集合場所付近の
道に段差があり
夜の避難時には
気になる

旗揚げゲームで意見交換

狭い袋路が植木鉢等で
閉塞状態。災害時の避難
に大きな危険がある



相当痛んだ空き家が
あり瓦が落ちそう

内野町公園内にある
ブロック塀は、内側に
倒れたら危険

外国人が増え、
有事の際に誘導
できるか不安

通路対策は、ごみ屋敷
対策とも協働して取
り組んで欲しい



(ワークショップ風景)

ワークショップでのご意見を踏まえ、空き家、ブロック塀、避難経路について、現地を確認するとともに、町内会長に対策を相談し、順次、関係者と協議を進めています。実現した改善事例を、ほんの少し紹介します。

改善事例は裏面

◆ワークショップを踏まえ、今年も一歩ずつ具体化しています！

その① 通り抜け通路新設！

右馬寮町北部にある袋路から駐車場に抜ける避難扉を、所有者の協力を得て設置しました。



その② 道路の段差解消！

内野町の道路から突き出ていたマンホールを切り下げ、段差を解消しました。

◆路地は皆が気持ちよく利用できるように心掛けましょう！

植木鉢や自転車などが道路上に乱雑に置かれている例が、朱二学区全体にあります。こうしたものは、災害時の避難の際に邪魔にあるおそれがあるほか、普段からの通行の支障にもなります。お互いさまの気持ちで譲り合い、町内のみんなが気持ちよく利用できるように心掛けましょう。



◆取替え時期を迎えていませんか？

住宅用火災警報器 本体の寿命は、おおむね10年です！

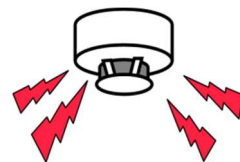


古くなると電子部品の寿命や電池切れなどによって、火災を感知しなくなることがあります。

設置後、おおむね10年を目安に交換することをお勧めします！

ご自宅の火災警報器の「交換期限」を確認しましょう。

「自動試験機能付」のものは、機能等の寿命を迎えるとブザーや音声で知らせます。



朱二学区では、平成19年から平成23年に掛けて、住宅用火災警報器をあっせん販売しました。その際に設置いただいた警報器が更新時期を迎えますので、この度、改めて学区であっせん販売（2,500円/個）を行います。別途周知しますので、ぜひご利用ください。